

マンハッタンカフェ

12月23日
日曜日
2001年
(平成13年)
P M 06 : 00

菊に続きGI 2勝目!

23日 中山 2500メートル 芝13頭
3番人気の3歳馬マンハッタンカフェ(蛭名正義騎乗)が2分33秒1で優勝。賞金1億8000万円を獲得し、実力日本一に輝いた。
同馬は菊花賞に次ぐG1制覇。蛭名騎手、小島太調教師はともにこのレース初勝利。1番人気で連覇のかかったテイエムオペラオーが5着、2番人気のメイショウドトウが4着、ともに引退レースを飾れず、新旧交代を告げるレースになった。
中団でじっくり機をうかがっていたマンハッタンカフェは、直線に向くと末脚が爆発。伸びを欠くテイエムオペラオーなどをしり目に一気にゴールへ飛び込んだ。先行した最低人気のアメリカンボスが2着に粘り、3着にトウザヴィクトリーが入った。枠番、馬番連勝とも、有馬記念史上最高の万馬券になった。

第46回有馬記念(G1)

ゴール前、中を割って突き抜けたマンハッタンカフェ(左から3頭目)。(左)有馬記念をマンハッタンカフェで制した蛭名はファンに祝福に笑顔